



会津医療センターから

こんにちは！



— ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ —
附属病院副院長兼
【15】整形外科・脊椎外科学講座
教授 白土 修

— ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ —
『元気！長生き！運動器！』

運動器、という言葉を知っていますか？ 消化器、循環器などをご存じかと思いますが、運動器はなじみが薄いのではないのでしょうか。これは骨、関節、筋肉、腱（すじ）そして脊椎（背骨）・脊髄（神経）などを指す言葉です。

運動器の病気やけがは、私たちの生活に大きな影響を与えます。足・腰が痛くて歩けない。手がしびれてうまく使えない。背骨が曲がってきて、立ったり歩いたりするのがつらい。転んでから、手足や背中が痛くて、動かせない、立てない、歩けない。運動器の障害は、皆さんの「QOL（生活の質）」を落としてしまうのです。長生きすることはとても大事ですが、運動器の健康なくして、人生をエンジョイすることは出来ません。

私たちは、運動器の病気やけがを治療するプロフェッショナルです。あらゆる運動器の問題に対応し、特に背骨・脊髄の病気や怪けがの治療が得意です。ですから「整形外科・脊椎外科」という、舌をかみそうな長ったらしい名称になっています。

数年前、私は会津管内の、ある自治体の長の方をお世話しました。その方は、足腰の痛みやしびれが強く、車いすでしか移動できない状態でした。腰の状態が思わしくなく、直ちに手術を行いました。幸い、手術翌日から歩けるようになり、今は公務に復帰され、お元気に活躍しています。今でもお会いするたびに「先生はオレの恩人だあ」と笑顔で話して下さいます。

この方のような笑顔が見たくて、私たちは日々頑張っております。合い言葉は、「元気！長生き！運動器！」。私が理事を務める日本運動器科学会の標語です。皆さんも毎朝、この言葉を叫んで、健やかな運動器を保ちましょう！

ちなみに私の趣味はマラソンです。毎年4、5回のフルマラソン（42.195km）、1回はウルトラマラソン（100km）のレースに出ています。毎朝晩、センターへの行き帰りはランニング、週末は市内のあちこちを走り回っております。私を見かけたら、ぜひ、気軽にお声を掛けてください。今後とも、会津医療センター整形外科・脊椎外科をどうぞよろしく申し上げます。